

# 全国学力・学習状況調査について

## 1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

令和4年4月19日(火)

## 3. 調査の対象

泉佐野市立日根野小学校 第6学年，全児童

実施児童数（109人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語，算数・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

ウ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布は、全国と比べて上位層がやや少なく、下位層もやや少ない。  
平均正答率（本校 68／泉佐野市 62／大阪府 64／全国 65.6）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p><b>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</b></p> <p>○話し言葉と書き言葉との違いを理解することは概ねできている。</p> <p>1一【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する。 (88.9／85.5)</p> <p>○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることにやや課題がある。</p> <p>1二【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する。 (75.9／68.8)</p> <p><b>【読むこと】</b></p> <p>○登場人物の相互関係について、描写をもとに捉えることにやや課題がある。</p> <p>2一（2）「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する。 (76.9／70.6)</p>	<p><b>【書くこと】</b></p> <p>○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることにやや課題がある。</p> <p>3一【文章2】の□の部分で、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する。 (72.2／59.2)</p> <p><b>【話すこと・聞くこと】</b></p> <p>○必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることは概ねできている。</p> <p>1三【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する (87.0／84.7)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	46.8	59.2	○	12.4
国語の勉強は大切だと思いますか	97.2	93.3		3.9
国語の授業の内容はよくわかりますか	85.4	84		1.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思いますか	91.7	91.8		0.1
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	79.8	78		1.8
解答時間は十分でしたか	56	66	○	10

○話し言葉と書き言葉の違いを理解したり、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができたりすることは、概ねできている。

○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることは、全国よりも大きく上回っている。

○立場を明確にして、質問や意見を述べることにやや課題がある。

○事実や経験を基に、感じたり考えたりしたことを文章に書く活動にやや課題がある。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布は、全国と比べて中上位層がやや多く、中下位層がやや少ない。

平均正答率（本校 63／大阪府 63／全国 63.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b> ○示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できることに課題がある。 1（4）<math>85 \times 21</math>の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。 (33.3／34.8)</p> <p><b>【変化と関係】</b> ○示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解していることに課題がある。 2（3）果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ。 (17.6／21.4)</p> <p><b>【データの活用】</b> ○分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することが概ねできている 3（2）分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ。 (71.3／63.9)</p>	<p><b>【データの活用】</b> ○目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができることにやや課題がある。 3（3）1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ。 (63.0／66.8)</p> <p><b>【図形】</b> ○図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解していることにやや課題がある。 4（3）辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形を書くことができるプログラムを選ぶ。 (63.0／66.5)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	63.3	62.5		0.8
算数の勉強は大切だと思いますか	94.5	94.2		0.3
算数の授業の内容はよく分かりますか	89.0	81.2	◇	7.8
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	91.8	93.3		1.5
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	58.7	69.3	○	10.6
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	82.5	80.4		2.1
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	79.4	76.8		2.6
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	87.1	85.7		1.4
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、それらの問題について、どのように解答しましたか	78.9	82.8		3.9
解答時間は十分でしたか	86.2	83.4		2.8

- 「データの活用」「数と計算」「図形」の領域において、平均正答率が全国を上回っている。
- 「変化と関係」の領域において、平均正答率が全国を下回っている。
- 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用したり、生活体験と結びつけながら考えたりできる児童の割合が全国に比べて少ない。
- 算数の授業での学習内容を理解できていると感じている児童が多い。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布は、全国と比べて上位層がやや多く、下位層も多くなっている。中間層が少なくなっており、二極化している。

平均正答率（本校 64／大阪府 60／全国 63.3）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【粒子を柱とする領域】</p> <p>○自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えを持つことにやや課題がある。</p> <p>2（3）水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見出し、問題に対するまとめを選ぶ。 (58.3／62.8)</p> <p>○自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えを持ち、その内容で記述できることにやや課題がある。</p> <p>2（4）凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見出された問題を書く。 (40.7／39.3)</p> <p>【エネルギーを柱とする領域】</p> <p>○日光は直進することを理解していることに課題がある。</p> <p>3（1）光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ。 (25.9／27.8)</p>	<p>【エネルギーを柱とする領域】</p> <p>○実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えを持ち、その内容を記述できることに課題がある。</p> <p>3（4）問題に対するまとめから、その根拠を実験の結果を基にして書く。 (29.6／35.1)</p> <p>【地球を柱とする領域】</p> <p>○観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えを持つことにやや課題がある。</p> <p>4（1）冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶ。 (77.8／82.3)</p> <p>○水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解にやや課題がある。</p> <p>4（4）鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く。 (56.5／62.0)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	32.1	49.3	○	17.2
理科の勉強は大切だと思いますか	51.4	57.4	◇	6.0
理科の授業の内容はよくわかりますか	44.0	54.5	○	10.5
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	34.9	35.1		0.2
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	45.0	45.5		0.5
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	15.6	13.1		2.5
理科の授業では、自分の予想とともに観察や実験の計画を立てていますか	37.6	40.5		2.9
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったか考えていますか	39.4	47.0	◇	7.6
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	28.4	33.3		4.9

- 全体的に平均正答率は全国よりも上回っている。特にできていない領域は無い。  
分布図から、できている児童とできていない児童の二極化が見られ、中間層が少なくなっていることがわかる。
- 「自分の考えを持つこと」「自分の考えを記述すること」に課題があると考えられ、特に、記述問題における無答率が高くなっている。
- 「理科の勉強は好き」と感じている児童の割合が低く、全国と比べて差が大きいことが課題である。また「理科の授業はよくわかりますか。」の質問項目も低くなっている。

## 令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（たとえば、1. 当てはまる 2. どちらかと言えば当てはまる 3. どちらかと言えば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差があるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に關しては、10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
<b>【家庭生活の様子】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日、同じぐらいの時刻に寝ている児童の割合が低い。</li> <li>○普段、読書をしない児童の割合が高い。</li> <li>○自然の中で遊ぶことや自然観察をする児童の割合が低い。</li> <li>○家で学校からの課題が分からないことがあったとき、先生に聞く児童の割合が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日、同じぐらいの時刻に寝ていますか。  <span style="float: right;">&lt;73.4/81.5&gt;</span></li> <li>○授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか。  <span style="float: right;">&lt;10分未満 50.4/40.4&gt;</span></li> <li>○自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。  <span style="float: right;">&lt;55.0/65.1&gt;</span></li> <li>○家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。  <span style="float: right;">&lt;先生に聞く 45.0/35.6&gt;</span></li> </ul>
<b>【自分自身について】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童の割合が低い。</li> <li>○先生が自分のよいところを認めてくれていると思う児童の割合が低い。</li> <li>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考える児童の割合が低い。</li> <li>○自分には、よいところがあると思っています児童の割合が高い。</li> <li>○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している児童の割合が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。  <span style="float: right;">&lt;66.0/71.5&gt;</span></li> <li>○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。  <span style="float: right;">&lt;81.6/87.1&gt;</span></li> <li>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。  <span style="float: right;">&lt;37.7/51.3&gt;</span></li> <li>○自分には、よいところがあると思いますか。  <span style="float: right;">&lt;84.4/79.3&gt;</span></li> <li>○難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。  <span style="float: right;">&lt;82.6/72.5&gt;</span></li> </ul>

<p>【学校での学習の様子】</p>	<p>○ICTを活用していると思う児童の割合が低い。</p> <p>○自分で調べる場面でICTを活用していると思う児童の割合が低い。</p> <p>○各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていると思う児童の割合が低い。</p> <p>○学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思う児童の割合が低い。</p> <p>○自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う児童の割合が高い。</p> <p>○学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う児童の割合が高い。</p>	<p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 &lt;30.3/83.2&gt;</p> <p>○授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。 (友達との意見交換・自分の考えをまとめて発表) &lt;25.7/76.1&gt;</p> <p>○5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。 &lt;49.9/72.2&gt;</p> <p>○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。 &lt;59.7/73.8&gt;</p> <p>○5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。 &lt;68.8/38.3&gt;</p> <p>○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。 &lt;73.4/63.5&gt;</p>
--------------------	--	---

## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

#### 【学習について】

##### ①伝える力を高める研究

本校ではこれまで「高めよう！伝える力」を研究主題とし、自分の考えを豊かに表現できる力の育成のための研究を進めてきた。研究の3本柱を設定し、“系統的な学習活動”，“安心できる温かい集団づくり”，“声を出す取組み”をおこなっている。

##### ②書きチャレの実施

学校全体で書く・話す力を高めるために、「ことばのカプリント」（府教委作成）を活用した「書きチャレ」の授業に取り組み、言語能力の向上につなげる。今年度は、「話す・聞く」に重点を置いて取り組む。

##### ③IT、少人数・習熟度別授業

算数科において、学習内容に応じて少人数・習熟度別授業を実施する。教師一人に対しての児童数を減らすことで、よりきめ細やかな指導を行う。

##### ④授業規律の確立（泉佐野スタンダード）

本市で共有している“泉佐野スタンダード”を授業規律の指導や授業づくりに活用し、学校全体で共通した指導をめざし、児童の学校生活が安定的なものになるよう努めている。

#### 【生活について】

##### ①家庭学習の充実をめざす

月に1度目標を決めて、「放課後の過ごし方」（学習面・生活面）を充実させる取組みを家庭と協力しながら行っている。また、自主学習の取組みについて研究を深めている。

### ◎これからの取組み

#### 【学習について】

##### 〈国語〉

- ・内容を押さえることにとどまらず、本文から根拠を探して自分の考えを書く活動などを取り入れていく。ロールプレイングを取り入れるなど想像を膨らませながら、お話を読み進められるようにする。
- ・文章を書かせるときに主語・述語を意識させる指導を行う。
- ・語彙力を高めるため辞書引きや読書の習慣をつける。

##### 〈算数〉

- ・生活にいかされている、生活とつながっていることを意識できる授業づくりに取り組む。
- ・ICTを活用し、視覚的に理解できるようにする。
- ・授業の中で、具体物を使って経験を増やす活動を取り入れたたり、自力解決の時間を十分にとったりするなど、課題解決を意識した授業づくりをおこなう。

##### 〈理科〉

- ・予想、実験などから考察を子ども自身でまとめられるようにする。
- ・学習内容を身近なものから考えていけるよう指導方法を工夫する。
- ・実験や体験活動を増やしていき、学習意欲につなげていく。

##### 〈質問紙〉

- ・授業の中で、話し合い活動や調べ学習の場面でより多くクロムブックを活用できるようにしていく。
- ・学校の中で読書する時間を確保する。また、定期的に読書の宿題を出し、家庭で読書する習慣をつける。
- ・子ども自身がよいとおもっているところを理解し、個人を具体的にほめられるよう指導していく。